

# 災害 から 地元を守る

● 自主防災組織の立ち上げと活動 ●



一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会

この刊物は、**宝くじ**の社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



# 災害から地元を守る

## 目次

自主防災組織が地域の防災力を向上させ、  
災害から地域を守ります ..... 3

～ このパンフレットの特色 ～

### ① 自主防災組織の事例と基礎知識

自主防災組織が地域力を上げ、「地元」を守る！ ..... 4

自主防のメリット ① 迅速な避難を可能にする ..... 4

自主防のメリット ② 的確な安否が確認できる ..... 4

自主防のメリット ③ 避難所の運営が円滑になる ..... 5

マンションでも自主防は結成・活用できます！ ..... 5

「自主防災組織」ってなに？ ..... 6

① 自助・共助を強化するための組織です ..... 6

② 自主防災組織の活動 ..... 6

③ 自主防災組織を結成する地域が増えています ..... 7

④ 消防団とは違います ..... 7

### ② 自主防災組織の結成方法

「自主防災組織」をつくろう！ ..... 8

① 町内会・自治会の役員会等で話し合しましょう ..... 8

② 規約や組織の原案について話し合しましょう ..... 9

③ 町内会・自治会の総会で討議、議決しましょう ..... 9

④ 自主防災組織の結成と市町村への連絡 ..... 9

⑤ 活動を盛り上げましょう ..... 9

### ③ 自主防災組織の活性化

活動を盛り上げていこう！ ..... 10

① 地域の事情に応じた備蓄品・防災資機材を用意する ..... 10

② オリジナルな防災マップをつくる ..... 11

③ 地区防災計画をつくる ..... 12

④ 防災訓練や普及啓発活動を実施する ..... 14

⑤ 助成制度を活用する ..... 15

# 自主防災組織が 地域の防災力を向上させ、 災害から地域を守ります

～ このパンフレットの特色 ～

自主防災組織を結成し、  
日ごろから防災活動に取り組むことが重要です。

このパンフレットは、自主防災組織の結成に必要な知識、  
結成後の活動について紹介しています。  
主な内容は次の3つです。

① 自主防災組織の事例と基礎知識 P. 4-7

② 自主防災組織の結成方法 P. 8-9

③ 自主防災組織の活性化 P. 10-15

ここでは「自主防災組織の活性化」に重点をおいています。  
地域防災力の向上にお役立てください。



# 自主防災組織が 地域力を上げ、「地元」を守る!



自主防災組織（自主防）は、地域の住民が災害から地域を守るための組織です。  
東日本大震災では自主防災組織が活躍しました。

## 自主防のメリット ①

### 迅速な避難を可能にする

東日本大震災直後、いち早く住民の安否確認や避難誘導を進め、避難所を開設した地域があります。

自主防を活用した成果でした。

会長は避難所へ向かう途中で拡声器を持って安否確認を実施。日ごろから訓練を行っていたため、迅速に避難を完了させました。



Point!

- 自主防があったことで、定期的な避難訓練を実施できました。

## 自主防のメリット ②

### 的確な安否が確認できる

無事か避難している場合は「安全旗」を掲げ、旗の出していない世帯を対象に安否確認を行った地区があります。

避難の時に支援が必要な住民のリストも作成していたため、限られた人数でも、効果的に安否確認を行うことができました。



写真提供：鎌倉市今泉台町内会  
<http://imaizumi-dai.org>



Point!

- 自主防があったことで、安否確認のルール（安全旗）を浸透できました。
- 自主防があったことで、避難行動要支援者のリストの作成がスムーズにできました。

## 自主防のメリット ③

### 避難所の運営が円滑になる

避難所となった学校では約1,000名もの避難者が集まりました。

想定を超える避難者数に対応するため、ここでも自主防が活躍。トイレやストーブの使用ルール等をボードに記入し、情報共有や円滑な避難所運営を実現しました。

日頃の活動で得た知識を活用した成果でした。



写真提供：たがじょう見舞館 <http://tagajoujrides.tohoku.ac.jp>



Point!

- 自主防があったことで、避難所のルールや情報の共有がスムーズにできました。
- 自主防があったことで、想定外の事態にも円滑に対処できました。

## マンションでも 自主防は結成・活用できます!

マンションなどの集合住宅でも、管理組合やマンションの自治会を、自主防災組織として活用できます。避難状況を知らせるため、マグネット式ステッカーを配布している自主防があります。

ライフラインの断絶に備え、プロパンガスや発電機、無線機など、資機材を準備している自主防もあります。

マンションでは、館内放送を活用し、避難訓練や防災意識の向上をはかることが可能です。



Point!

- 集合住宅では、建物一棟まるごとで自主防を結成するのが効果的です。

# 「自主防災組織」ってなに？

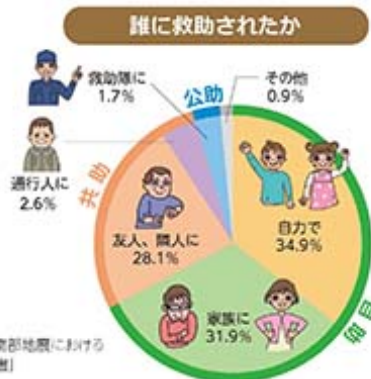


## ① 自助・共助を強化するための組織です

阪神・淡路大震災のとき、倒壊した家屋の下から「自力で」助かった人や「家族に」救助された人、そして「友人、隣人に」救助された人が圧倒的多数でした（右図参照）。



出典：日本火災学会「兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」



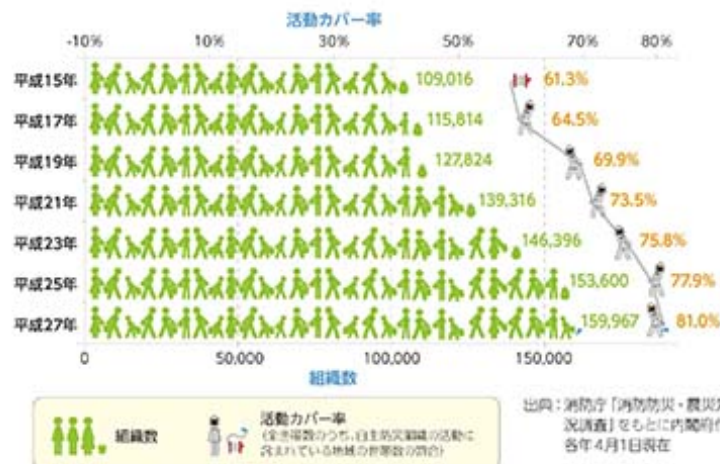
## ② 自主防災組織の活動

地域の住民が防災活動を実施するために、**自発的に結成する組織**です。災害による被害を予防し、軽減するための活動を行います。



## ③ 自主防災組織を結成する地域が増えています

皆さんのお住まいの地域でも結成されているかどうか、確認してみましょう。



## ④ 消防団とは違います

消防団は、**地域住民による消防・防災組織**です。消防団員は**非常勤の地方公務員**です。市町村長が管理運営を行います。

### 自主防災組織と消防団の組織の関係の比較



# 「自主防災組織」をつくらう!



自主防災組織が結成されていない地域にお住まいの方は、自主防災組織の結成について検討してみてもいかがでしょうか。結成するまでの進め方について紹介します。

## ① 町内会・自治会の役員会等で話し合いましょう

自主防災組織の必要性について意見交換を行い、どのタイプの自主防災組織が地域の実情に即しているか話し合います。3タイプのうち「重複型」が主流です。

### 自主防災組織のタイプ

#### 重複型



町内会・自治会の代表者や役員が、自主防災組織の代表者や役員を兼職します。

町内会・自治会の活動と一体的に防災活動を行えるメリットがあります。

#### 下部組織型



町内会・自治会の一部門として自主防災部門を設置し、独自の代表者と役員を配置します。

防災活動に専念して活動できるメリットがあります。

#### 別組織型



町内会・自治会が、商店会や他の町内会等の組織と連携しながら、町内会とは別に自主防災組織を結成します。

町内会・自治会の範囲に限定されず、連携先の技能や活力との相乗効果を期待できます。

## ② 規約や組織の原案について話し合いましょう

役員会等で規約、組織構成、活動計画の案について話し合います。市町村が規約や組織（班の構成）の例を紹介している場合もあります。お住まいの市町村の防災担当部署に相談してみてもよいでしょう。

### 組織構成の一例



## ③ 町内会・自治会の総会で討議、議決しましょう

自主防災組織の結成を総会の議題とします。規約、組織構成、活動計画について討議し、議決します。このときに、防災活動の重要性や必要性についても説明し、地域の皆さんの参加意欲や防災意識を高めましょう。



写真提供：横浜市都筑区津山連合町内会  
<http://www.higashiyamata-rencho.com>

## ④ 自主防災組織の結成と市町村への連絡

自主防災組織が結成できたら、速やかにお住まいの市町村の防災担当部署に、結成の届け出を行います。市町村によっては、結成時や年度ごとに資機材や補助金等の交付を行っています（P.15参照）。届け出にあわせて申請手続きを行います。

## ⑤ 活動を盛り上げましょう

自主防災組織の結成は「ゴール」ではなく、防災活動の「スタート」地点です。積極的に活動を実施しましょう。

具体的な活動方法について、次のページから紹介していきます。



# 活動を盛り上げていこう!



自主防災組織をつくったら、活動を盛り上げていくことが大切です。そのためには、継続的に活動をしていくことを心がけましょう。

## ① 地域の事情に応じた備蓄品・防災資機材を用意する

災害に備えて用意しておくべき備蓄品・防災資機材について話し合い、**世帯ごとに用意するものと自主防災組織として用意するもの**を決めておきましょう。各世帯と地域での備蓄を合わせて、**1週間分は確保**しておきましょう。



No	項目
1	携帯用ラジオ(予備電池)
2	サイレン付話声器(予備電池)
3	懐中電灯(予備電池)
4	地図、模造紙、メモ帳
5	油性マジック、ボールペン
6	携帯用充電器
7	トイレシート(ペーパー)
8	ウェットティッシュ
9	簡易トイレ
10	携帯食料(パン・缶詰めなど)
11	飲料水
12	タオル、マスク、軍手

避難・情報収集・伝達用

No	項目
1	バール、のこぎり、ハンマー、チェーンソー
2	はしご、ジャッキ
3	ロープ、ワイプ
4	ヘルメット、ゴーグル、ホイッスル
5	防護・防塵マスク、皮手袋
6	多機能ナイフ、ポルトクリッパー
7	テント、寝袋、毛布、リヤカー
8	救急セット(消毒液、ガーゼ、包帯など)
9	AED
10	サランラップ
11	医薬品、生薬用品・薬おむつ
12	ごみ袋
13	ポリタンク

救出・救護用

No	項目
1	消火器
2	消火用バケツ
3	救命ボート(2~4人乗り)
4	救命胴衣
5	防水シート
6	シャベル、スコップ
7	ロープ
8	土のう袋(砂)

初期消火・水防用

No	項目
1	清涼飲料水
2	非常食(乾パン、アルファ化米)
3	炊飯器、鍋、やかん、おたま
4	ガスボンベ、カセットコンロ(予備ボンベ)
5	紙コップ、紙皿、割りばし、スプーン
6	給水タンク、漏水装置
7	着火用ライター

給食給水用

※自治体によっては、資機材等に補助金が出る場合があります。

## ② オリジナルな防災マップをつくる

避難所や避難経路、避難の際の危険箇所、災害時に役立つお店や施設など、自主防災組織のメンバーで話し合い地図に書き込んでいきます。あなたの地域の**オリジナルな防災マップ**をつくりましょう。

### ステップ①

#### 地域の危険性について話し合う

お住まいの市町村が作成しているハザードマップや避難所一覧などを参照して、**避難する際にどのような危険や不安があるか**を話し合います。



### ステップ②

#### まち歩きをして危険箇所等を把握する

まち歩きの参加者・班分け・まち歩きの範囲を決め、必要な機材(筆記用具、地図、メロ帳、メジャー、カメラなど)を準備します。まち歩きに出発したら、**危険な場所や役立つ場所、過去の歴史や経験を調べて、メモ**します。



### ステップ③

#### 地図にメモを落とし込み防災マップをつくる

地図、多色マジック、付箋を用意し、チームのメンバーとまち歩きの結果を話し合い、**地図上に危険箇所や避難に役立つ施設、避難所までの避難ルート**を書き込みます。



香川県三豊市真兼町公民館(上記3点)  
写真提供:三豊市役所 <http://www.city.mitoyo.jp>

#### ※防災マップ作成の注意点

- ①誰の視点でつくるか:子どもやお年寄り、災害弱者の方々にも参加してもらいましょう。
- ②どの時間帯を表現するか:日中・夜間で地域にいる人・いない人がいることを想定しましょう。
- ③どの季節を表現するか:季節によって危険箇所が変わったり、地域にいる人が変わったりしないか、把握しましょう。

## 3 地区防災計画をつくる

東日本大震災の経験から、自助、共助、公助が連携して大規模広域災害の対策がうまく機能することが認識されました。その教訓から、地区防災計画制度が創設されました。自主防災組織の皆さんで地区防災計画をつくり、年間で行うべき防災活動・取組を決めましょう。

### 平常時の主な活動の一例

#### 1 災害に備えるための活動

- 防災資機材の整備
- 備蓄品の管理



#### 2 被害を軽減するための活動

- 地域の危険箇所の把握
- 地域の避難路、避難場所の把握
- 防災マップの作成



#### 3 災害時の活動の習得

- 消火訓練
- 避難訓練
- 給食給水訓練



#### 4 普及・啓発活動

- 広報紙の発行
- バケツリレーでの消火訓練
- 防災講演会の開催
- 火気を使用する器具の点検・整備の呼びかけ



### 災害時の主な活動の一例

#### 1 情報収集・伝達活動

- 被害情報・救援情報の収集と伝達
- 防災機関との連絡



#### 2 初期消火活動

- 消火器などによる消火活動

#### 3 避難誘導活動

- 住民を避難所へ誘導
- 住民の安否確認



#### 4 救出救護活動

- 負傷者の救出救護
- 医療機関への連絡
- 介助が必要な人への手助け



#### 5 給食給水活動

- 食料、飲料水の調達と炊き出し
- 救援物資の受領、分配



### 話し合いの結果を取りまとめるところから始めよう

地区防災計画に定まった形はありません。他の組織と内容が違ってかまいません。目的は、中身を実現することです。左の例を参考に、どのような活動をすべきか、話し合った結果をまとめるところから、計画づくりを始めましょう。



### 地区防災計画作成の注意点

皆さんが年間でどのような活動をするかを決めましょう。防災活動は、地域の実情に押し、できることから取り組みましょう。町内会や自治会などの行事と一緒に、防災訓練や普及・啓発活動を行うのも有効です。

出典：内閣府（みんなで作る地区防災計画 地区防災計画モデル地区の取組 安波地区（若手県大橋町））



要介護者の搬送

### 地区防災計画の取り組み事例

東日本大震災を経験した若手県大橋町の安波地区では、地区防災計画を作成しました。計画は、町内会や消防団の人々を中心に作成されました。避難者へのヒアリングやアンケート調査を行い、津波からの避難の反省点も調査しました。今では、反省点を踏まえた避難訓練を毎年実施しています。

出典：内閣府（みんなで作る地区防災計画 地区防災計画モデル地区の取組 安波地区（若手県大橋町））  
[http://www.bousai.go.jp/kyoiku/chikubousai/pdf/h26model\\_chika\\_summary/gaiyo01.pdf](http://www.bousai.go.jp/kyoiku/chikubousai/pdf/h26model_chika_summary/gaiyo01.pdf)



こすぼる（いやがる）老人を説明して避難支援

全国の地区防災計画の取り組み事例については、内閣府のホームページで紹介されていますので参考にしてください。

内閣府地区防災計画のホームページ <http://www.bousai.go.jp/kyoiku/chikubousai/>



## ④ 防災訓練や普及啓発活動を実施する

災害時には、住民一人ひとりが、自分の身を自分の努力によって守る**自助**と、地域や近隣の人々が協力し合いながら、防災活動に取り組む**共助**が重要です。普段から防災訓練や普及啓発活動を行い、地域の防災力を高めましょう。



### 様々な防災訓練

#### 避難時の訓練の例

避難訓練

避難路、指定緊急避難場所、指定避難所等確認

避難経路上の危険箇所の把握

要配慮者の把握

#### 避難後の訓練の例

避難所開設

避難所運営  
(燃料調達、給食・給水、情報収集・共有・伝達等)



#### 応急訓練の例

消火訓練

救急応急措置訓練  
(心肺蘇生法、AED講習等)

防災資機材取扱訓練



訓練を実施して終わりではありません。訓練の中から課題や改善点を**発見・検証・改善**していくことが重要です。行政や事業者と連携した合同防災訓練も有効な訓練です。

### 様々な普及啓発活動

#### クロスロードゲーム

災害時の切迫した状況下での判断・行動について、多様な考え方があふること、そのような状況への備えに気づきあうための二者択一式ゲーム。

#### 防災運動会

担架リレー、バケツリレー、土嚢積みリレー、防災クイズ等防災をテーマにした運動会。地区の行事とともに実施したり、幅広い年代が参加することを想定。

#### DIG (災害図上訓練)

地区に災害が発生したことを想定して、入手した情報を踏まえ、災害の状況、予測される危険等を大きな地図に記入する訓練。

#### HUG (避難所運営ゲーム)

避難者の事情に応じて、避難所に見立てた平面図に適切に避難者を配置できるか、トラブルにどう対応するか等避難所運営を模擬体験するゲーム。

この他にも、前の頁で紹介した、まち歩きや防災マップの作成も、普及啓発活動として有効です。

## 防災訓練でスタンドパイプを使ってみよう

大地震の際には、倒壊建物などで、災害現場に消防隊が到着できないことがあります。その時は、**地域住民が協力して消火にあたる必要があります。**

多くの自主防災組織では、**D級ポンプ**が配備されています。現在より簡易に使える**スタンドパイプ**も普及し始めています。

スタンドパイプは、道路上にある消火栓や排水栓に差し込み、ホースをつなぎ消火を行う道具です。軽量で操作も簡単、近くの消火栓等を使って消火活動ができます。防災訓練などで、ぜひ使ってみてください。

### スタンドパイプの使い方



① スタンドパイプとホース



② 消火栓に差し込む



③ スタンドパイプとホースをつなぐ



④ 放水開始

出典：東京消防庁「広報とうきょう消防（第9号）」

## ⑤ 助成制度を活用する

市区町村では、**自主防災組織の立ち上げや活動を助成しています。**助成内容は市区町村によって異なりますので、お住まいの市区町村にご相談ください。

### 助成内容の一例

- 備蓄品や防災資機材の提供、購入のための費用
- 防災訓練や普及啓発活動にかかる費用
- 防災訓練や普及啓発活動の企画・実施等の支援
- 防災アドバイザーの派遣
- 防災士などの資格取得の費用

### 危機管理ハンドブック⑤ 災害から地元を守る 自主防災組織の立ち上げと活動

監 修 中 部 章 明治大学名誉教授  
 編集発行者 一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会  
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2丁目9番16号 日本消防会館4階  
 Tel: 03-3593-2823 Fax: 03-3593-2832  
 URL: <http://www.boukai.or.jp/>  
 印 刷 株式会社アイネット  
 発 行 2017年1月



# 宝くじは、みなさまの 豊かな暮らしに役立っています。



点字本レシピ集



同子  
「フラッグフットボール作戦クラブ」



ベンチ



さくらの若木補設



一輪車



パブリックアート



同子  
「おやこの食育教室  
(三角市村)」



胸部X線検査車



宝くじは、図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、  
少子高齢化対策や災害に強い街づくりまで、  
さまざまなかたちで、みなさまの暮らしに役立っています。

一般財団法人 日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や  
公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。

一般財団法人  
**日本宝くじ協会**  
<http://jfa-takarakuji.or.jp/>

